

2025 年度実施概要

■学校名

与論町立茶花小学校

■採択活動名

地域連携型の与論町海洋教育 ～ユンヌの海から世界へ～

■実施単元

単元名	学年	教科
1.教えて、ウプ・パーパー	第3学年	ゆんぬ学
2.与論とわたしたち ～特産物から～	第4学年	ゆんぬ学
3.ユンヌの海とわたしたち	第5学年	ゆんぬ学
4.ヨロンのタカラ探し	第6学年	ゆんぬ学

※実施した単元の数に応じて記載（欄は適宜追加してください）

※総合的な学習・探究の時間等においても、一連の学習活動のまとまりを単元として捉え、どのような学習が展開されたか（具体的な学習の姿、学習の高まり、目的など）を端的に表現し単元名としてください。

■取り組みの概要

3年「教えて、ウプ・パーパー」

自分のおじいさんやおばあさんを学校に招き、昔遊びを一緒にしたり、ユンヌフトゥバを教えていただいたりした。昔遊びでは、お手玉、けん玉やコマまわしを一緒に楽しんでいた。また、ユンヌフトゥバでは、自分が知っているユンヌフトゥバを紹介したり、ユンヌフトゥバでの言い方を学習したりした。お手玉やけん玉、コマまわしに興味をもってする子供もいて、学校行事の発表会でも、観客の前でお手玉やけん玉、コマまわしを披露し、ユンヌフトゥバを紹介することができた。



4年「与論とわたしたち～特産物から～」

保護者の協力のもと、与論の特産品であるサトウキビの栽培に挑戦した。1学期にサトウキビの植え付けや世話をし、3学期にサトウキビの収穫や黒糖作りを行った。島内でよく目にすることがあるサトウキビであるが、実際に体験することで、新たな気づきがあった。収穫では、サトウキビをかじってみたが、初めてかじった子供も多かった。黒糖作りでは、自分たちの刈ったサトウキビをサタグルマでひき、黒糖を作った。



5 年「ユンヌの海とわたしたち」

与論の課題を知るために、昔の与論と今の与論を知ることから始めた。風花苑を訪問し、利用者から昔の与論の様子を聞いた。観光協会が制作した昔の様子を収めた映像を観ることでイメージ化することができた。

また、役場環境課の杉田恭宣さんやB & Gの池田剛さんをお招きし、昔の与論の様子

や今の与論での取組を紹介していただいた。そこから、与論の観光に興味を示し、自分たちでSDGsの視点から、観光業を盛り上げるための提案の考え、発表することができた。



6 年「ヨロンのタカラ探し」

これまで与論に関連する音楽といえば、3のつく日に「サヨサ節」を歌うことや運動会でエイサーを披露することだった。これまで関わってきた音楽をもっと知り、自分たちで奏でてみたいということで、本校保護者で音楽活動をされている小高明日香さん、有馬瞳さんに御協力いただいた。「サヨサ節班」「ラッパ節班」「オリジナル曲班」に分かれて活動を始めた。三線の弾き方、太鼓の叩き方や演舞を教えていただき、発表をすることができた。

